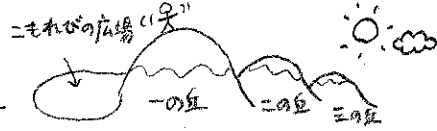


たいようぐみだより

2020年3月19日(木)
えんまらまぼねりんぼえん

暖かい日が夕くなり、木の芽もふくらんで春の近づきを感じます。もうすぐ小学生になる!と子どもたちは楽しみにして話しています。

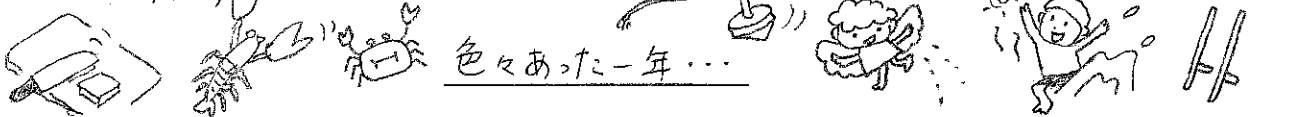
お別れ遠足



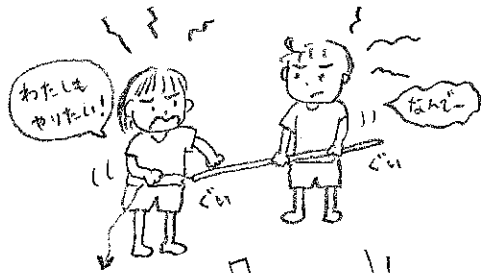
11日(水)に久しぶりにお弁当を持って双ヶ丘へ行きました。「もうこれが最後の園外保育?」「お弁当楽しみ～」と出発前からウキウキしている子どもたちです。双ヶ丘へ着くと、ど「この道から一の丘へ行くか?」をまず考えます。「この前、こちらから行ったから あっちから行ってみよ～」と新たな場所を進みます。歩きながら木の実を見つけたり、さらに「こちら行ってみよ～」と道なき道を歩く事を楽しみます。それぞれやりたい事があり、テンポは違いますが、子どもたちも友だちの姿を見ているのでまとまって歩きます。一の丘に着くと楽しみにしていたお弁当を開け食べます。食べ終わりがけた時、雨が降ってきたので、急ぎよこもれびの広場まで降り、雨が止むのを待ちます。それでも遊びたい子どもたちは、カッパを着て再び遊び始めます。本格的に降ってきた時はさすがに雨宿りしましたが、雨が弱くなるにつれて屋根から出て、かくれんぼや鬼ごっこをし、30分程経つと、雨も止み、日が差してきたので子どもたちも大喜びでカッパを脱いで遊んでいました。



たいよう組になり、双ヶ丘へは往復歩く事が多く、春頃は帰り道で疲れた表情の子どももいました。けれど様々な遊び等を通して、この頃はずいぶん体力がついたな～と思います。お別れ遠足で全員でかくれんぼを楽しみ、笑顔で保育園まで帰る姿は とても頼もしかったです。



4月から色々な事が本当にありました。ザリガニ釣り、お泊まり保育、プール遊び、運動会、他園との交流、クリスマス、月一回のサッカーに他クラスとの交流、フッキング... 本当に数え切れない経験をしました。残すは卒園式のみです。年長クラスと言えば園の代表です。「自分の事は自分でできる」「友だちと協力し合える」たいよう組と大人の理想はありますが、14人いれば14通りの思いや成長の仕方があります。思うようにいかず、ケンカをする事もたくさんありました。それぞれの思いが強くと気持ちが高ぶると止まりません... ところが一致した時はとても盛り上がるのもたいよう組らしさでした。一年を通して友だちと関わりつつ、取り組む機会を多く持ちました。例えばザリガニ釣りへ行く為に釣り竿を2人1組になり作りましたが、自分中心に進める



ので上手くいきませんでした。それでも積み重ね、先日のフッキングで2人1組で玉ねぎをプランターから収穫し、切る、炒めるのもやってみるとそれぞれのペアでお互いの声を掛け合い進める姿に成長を感じるひとときでした。小学校へ行くと最小学年の一年生となり環境もがらりと変わり、最初はとまどう事もあるかと思いつつ、少しづつたいよう組になったように、また少しづつ一年生になってほしいなと願っています。

